

# 三宅島伝道所通信 第3号

発行日：2021年7月14日

報告者：三宅島伝道所 主任担任教師

岡田真希

コロナウイルスの感染がなかなか収まらず、どの教会も活動を制約され、主日礼拝すら厳しい状況が続いています。そのような中であっても、尊い献金と祈りによって三宅島伝道所を支え続けてくださいますことを心から感謝申し上げます。

三宅島伝道所に38年ぶりに牧師が招聘され、一年が過ぎました。劇的な変化が起こったわけではありません。しかし、主日礼拝が毎週確実に捧げられ、呼吸をするように祈りの営みが一年間保たれたことを感慨深く思います。

コロナのせいで東京に行くこともほとんどなく、お支え下さる皆さまに直接会ってお礼を申し上げることが出来ず心苦しいですが、我々三宅島伝道所に集うクリスチャンは皆元気です。

三宅島伝道所の陪餐会員でない3名の方々からも毎月月定献金が捧げられています。離島の教会でありながらも孤独感を感じないのは、このようなお支えによるものです。

## コロナの影響

緊急事態宣言措置により、三宅島全体でも飲食店をはじめ諸施設の閉鎖が続いています。6月に入ってからは図書館など公の施設が再開されましたが、まだまだ息苦しい時間は続きそうです。

三宅島から東京の病院に定期受診しなければならない教会員、またそのご家族がいらっしやいます。緊急事態宣言措置で受診を先に延ばしたりもされましたが、それにも限界があります。三宅島でも高齢者へのワクチン接種が始まりましたが、早く全ての人のワクチン接種が終わることを願います。

## ホームページ作成

三宅島伝道所のホームページを作成いたしました。

アドレス：[miyakejima-church.com](http://miyakejima-church.com)

もしくは、「三宅島伝道所」で検索してください。

説教要旨、礼拝案内などを島の風景の写真と一緒にアップしています。島の雰囲気、そしてこの島にキリストがお求めになった礼拝が息づいていることが伝われば、と願っています。

このホームページを通して少しでも三宅島を、またそこにある伝道所の小さな群れの礼拝を心に覚えていただければ幸いです。コロナが収束したら、是非三宅島伝道所をお訪ねください。

東京本土で生活されている三宅島伝道所会員には毎週礼拝の録音データをメールでお送りしています。このような状況で三宅島に帰れず、故郷の伝道所の礼拝にも出席できない中であっても礼拝の音声が信仰者への励ましとなっていることに、福音には力があることを実感します。

伝道所会員以外にも「三宅島伝道所の礼拝録音を私にも送ってください」と言ってくださる方もいて、三宅島伝道所で語られる福音が伝道所の礼拝堂以外の場所でも聞かれていることを嬉しく思っています。

### 牧師駐在日

土曜日は「牧師駐在日」となっています。先日、昨年度から毎週遊びに来てくれている子供たちと一緒に礼拝堂の裏を耕して種を植えました。一緒に散歩しながら採った明日葉の種を試しに蒔いたら、芽が出てきました。その他、青じそ、にんにく、フリージアを植えてくれました。目をキラキラさせた子供たちと楽しい時間を過ごしています。

美しい自然の中にある教会でたくさん思い出を作ってもらえることを願っています。



礼拝開始を朝の10時半から10時に変更したので、伝道所跡地の看板の文字を修正しました。5月最初の土曜日に「伝道所跡地の看板を見て探して来ました」、という東京から釣りに来た方が訪ねて下さいました。「妻がクリスチャンなんです」と、翌日の主日礼拝にお二人で来て下さいました。

伝道所跡地は海辺の細い道の人通りの少ない場所ですが、そこに立てた看板を通して誰かが伝道所を尋ねて来た、ということに人の業を超えた導きを感じています。



今年度に入ってから会計を、感謝をもって報告いたします。

皆様からのご支援に感謝しつつ、三宅島伝道所より祝福をお祈りしております。

### 三宅島伝道所教勢

	主日礼拝		祈禱会	
	男性平均	女性平均	男性平均	女性平均
4月	1	4	1	4
5月	1. 2	4. 6	1. 2	4. 6
6月	1. 3	3. 5	1. 3	3. 5